

部門で女性が活躍しており、社員  
274人中226人が女性。女性

積極参加を促すなど、結婚後も働  
ける環境作りにも力を注いでいる。

経済産業省は3日、女性や外国人、障害者など多様な人材を活用して実績を挙げた「ダイバーシティ経営企業100選」の2013年度発表表彰企業46社を発表した。九州からは、建設業のゼムケンサービス（北九州市）、住宅設計販売のエスケーホーム（熊本県山鹿市）、健康食品販売の健康家族（鹿児島市）の3社が選ばれた。女性の活躍を後押しし、業績も向上させた各社の取り組みを紹介する。

### ダイバーシティ企業100選 九州から3社

## ゼムケンサービス(北九州市) 女性目線の手帳販売



社員8人のうち女性が6人の設計会社。社員募集で「夕方には帰宅したい」という育児中の女性が2人応募してきたことから、インターネット上で図面や予定を共有し、チームで仕事を進める仕組みを調えるなど、9年前からワークシェアリングを導入している。

家事の合間に勉強ができるよう、建築関連の法改正や動向をまとめた社員手帳も作成。スケジュール部分にも仕事と家族の予定の両方を記入できる工夫をし、一般向けにも「ワークライフバランス手帳」や「写真」として販売中。女性目線に特化することで、売上高は2008年度からの5年で倍増し、利益率も向上した。籠田淳子社長は「今後は女性目線を生かした都市開発にも挑戦したい」と意気込む。

## エスケーホーム(熊本県山鹿市) 経験生かした家設計



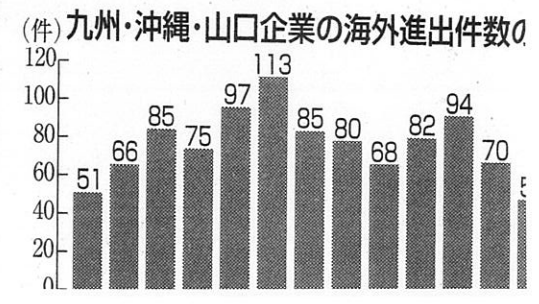
熊本県や福岡県南部を中心に活動する注文住宅の設計・販売会社。2005年に新卒採用を開始し、女性も採用。現在は社員の約半数が女性で、営業成績別でも上位5人中3人は女性。瀬口力社長は「家は『女性の城』。奥様の意見をきちんと取り入れた家は顧客満足度も高い」と話す。

女性管理職登用に向けて他社を見学する中、結婚も子育ても諦めて仕事を選んだ女性が多いことに気付く。「結婚や子育ての経験も生かした設計や提案力を持つてほしい」と、男女ともに午後10時以降の仕事は禁止し、営業ノルマを廃止。女性管理職比率は14・3%に上昇した。これを5年以内に30%に引き上げるほか、社内託児所などの育児支援策を強化する予定だ。

# 車の税率 大半は登録日

消費税増税前の扱いが分かれて日を税率の基準日者に渡す納車日や降になる場合、会

消費 課税 に課税 「譲渡 の種別 などを 登録・届 事業者 する。 トヨタ マツダ 自動車 が移る で、3日



(第3種郵便物認可)